



学校だより

# スタチューン



志真志小学校

第12号

2026年6月26日(金)

校長 林 史子

## みんなちがって みんないい

6月16日、体育館で校長講話を行いました。

講話では、子どもたちに3つの質問を投げかけ、自分の考えやその理由を友達と伝え合う活動を行いました。同じものを選んでいても理由は人それぞれ違い、また、同じものを見たり聞いたりしても感じ方や考え方は一人一人異なることに気付くことができました。

子どもたちは友達との対話を通して、「違い」は間違いではなく、一人一人の個性や大切な考え方であることを実感したようです。これからも学校生活や授業の中で、お互いの意見や考え、感じ方を尊重しながら対話を重ね、自分の考えを広げたり深めたりできる子どもたちを育てていきたいと考えています。

### 【児童のふり返り】

○見たものやかんじたことがいっしょでも、いみはちがう。じぶんはカラスに見えたけど、いろんな人はちがう見かたをしていました。人によって、見かたやかんじかたがちがうんだなーとしました。

(2年生)

○今日、校長講話がありました。話を聞いてみると、みんなはっぴょうしてるとき、みんな見方や理由がちがくて、みとめ合いながら、やっていました。みんな、それぞれいけんがちがくて、おもしろいなと思いました。これからも生活でみんなのいけんのちがいを見つけて、ほめ合いながら生活にうつしていきたいです。あと、みんなのいけんを大切にしていきたいです。(3年生)

○校長講話で、犬とねこどっちがすきかや、ある絵がどう見えるかを友だちと話して、すきな物は同じだけど、理由がちがうから考え方がちがうんだなと思った。絵がどう見えるかを話したときは、見え方がぜんぜんちがっていた。(4年生)

○今回の校長講話で、みんなちがってみんないいの話を聞いて、「他の人が自分とちがっても、みとめ合うことが大切」を改めて感じました。(5年生)

○校長講話を聞いて感じたことは、自分の考えによって意見やその見方が変わることです。なぜなら、あるクイズで「鳥に見えるかうさぎに見えるか」というようなクイズをしました。そのクイズでぼくは、「鳥に見える」と考えていたけど、他の人は「うさぎにしか見えない」と言っていたので、うさぎに見えるか確かめると、うさぎに見えました。改めて考えてみて、これが見方が変わるということなんだと思いました。なので、これからは人の意見をひていしないで、ちゃんと受け入れることをがんばっていきたいです。(6年生)

## 7月行事予定

- 1日 保護者面談  
※全学年 13:25 下校 (～7/3)
- 2日 読書・読み聞かせ(1・3年)
- 6日 委員会活動④
- 8日 委員会朝会(整備委員)
- 9日 読書・読み聞かせ(1・2年)  
スマホ安全教室6年:2校時、5年:3校時
- 10日 表彰朝会
- 17日 1学期終業式(給食あり)  
※全学年 13:25 下校

**8月28日 2学期始業式(給食あり)**  
**※全学年 13:25 下校**